



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくらい内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成25年4月

うるわし通信

春のにぎわい



3月24日「まほろばの里 卑弥呼」開店3周年感謝祭



4月7日「NPO法人さくらい菜の花プロジェクト」花・花フェスタ

桜井記紀万葉プロジェクト便り

のみのすくね
◇野見宿禰の碑を建立：巻向のパワースポット（うるわし通信第21号で掲載）

すもう
搦力が執行われました垂仁7年7月7日に因み、今年7月7日の「野見宿禰の碑」序幕式には777人分の振舞いそうめんをする予定ですので皆様のご参加をお願い致します。

◇そうめんロード

崇神天皇の御代に飢餓に直面し、小麦を棒状にして乾燥させた棒麺が作られました。これが「三輪そうめん」の始まりとされます。

平安期には、七夕にそうめんを食する宮中歳事が行われていたと伝えられています。2月5日に大神神社ではそうめんの卸値を占う「ト定祭」ぼくじょうさいが行われ、恵比寿神社にその結果をご報告されます。周辺には多くのそうめん店があります。こうしたことから、そうめんへの取組みとして特定の地域を「そうめんロード」と名づけ、全国的に発信する取組みを致します。

ぬかのおおきみ
◇「額田女王」をNHK大河ドラマに！

2月9日に「額田女王研究会」を開き、NHKの大河ドラマにとはたらきかけています。

おきながぞく
彼女は息長氏の一族として桜井・忍坂に生まれ、三輪山をこよなく敬愛していました。当時の緊迫した東アジア状勢のもと、国家として確立して行く日本の創成期に、5人の天皇に仕え9代の天皇を見続けました。

おおあまのおうじ といちのひめみこ
大海人皇子（後の天武天皇）の子・十市皇女を生み、皇子の兄・天智天皇に仕え、万葉歌人として時代の岐路に力強く、晴れやかな歌を今に伝えています。

『三輪山をしかも隠すか雲だにも心あらなむ隠さふべしや』万葉集巻1(18)



『額田女王』井上靖著

天武天皇が崩御されますと宮中から身を引き、余生を栗原寺で過ごしたものと思われます。万葉集の初期に活躍した代表的な歌人で力強く、引き締まった歌風、しかも華やかな女性らしさが漂う和歌は、後世に多くの影響を与えました。

作家井上靖氏によりますと「才色兼備で神秘的な雰囲気がある女性」と述べられています。

奈良県では2020年まで「記紀万葉プロジェクト」に取り組んでいます。この事業に呼応して彼女の視点から日本の創成期を大河ドラマで振り返ってみたいものです。

*これらにご興味のある方は藤井までお知らせ願います。

電話0744-43-71047

児童館活動をふりかえって

平成25年3月18日（月）「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）

出前講座講師 倉田 満（桜井市人権施策課主幹）

講演内容は、①解放子ども会ができるまで ②解放子ども会始まる ③児童館建設を契機に ④人権の世紀に ⑤部落差別って何だろうの5つの項目からなっています。

昭和55年に大福・吉備地区で解放子ども会が始まる。当時の同和地区の状況は、教育・結婚・就職・居住・移転の自由などの市民的権利が保障されておらず、身近にさまざまな差別事象が惹起していました。その中で昭和56年に桜井市による同和対策事業として市内三つの地域で「差別を見抜き、差別を許さない、差別とたたかう子どもの育成」を目的に、解放子ども会活動が実施される。また地区の子どもたちは「低学力とお金の子守する」という現実におかれており、そのような差別の現実を解決するために、桜井市は三つの地域に解放子ども会指導員を配置し、教育委員会同和教育指導課に位置づけるようになりました。

その後、親や地域の人たち（解放同盟を中心に）が声をあげ、運動を展開する中で、昭和61年に大福・吉備児童館が建設されます。そして、複数の学習室・体育館・専門室等がある児童館が三つの地域に誕生しました。

児童館活動は周辺地域へと門戸が広がり、学童保育的な施設としての役割とともに「障害」をもつ子どもの受け入れなども推し進めてきました。同時に同和教育補充学級・解放塾を通じて地域を見直す取り組みも展開されてきました。そして、地域に生まれたことを誇りに思える子どもづくりを推進してきました。

21世紀に入り、子どもの権利条約の提唱と批准、人権教育のための国連10年など、国内外で人権を守ろうとする大きな動きの中で、児童館活動も多岐にわたって展開されていきました。

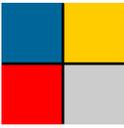
しかし、残念なことに、平成23年度末をもって児童館（子どもセンター）の活動は終了することになりました。

今ふりかえって見ると、児童館活動が果たした役割は、実に大きいものがあります。なぜなら、これまで児童館では仕事をしている両親のために、子どもを時間まで預かるという学童保育的事業（多くの子どもたちの放課後の居場所として安全・安心の確保）だけでなく、子どものサークル活動・人権学習すなわち部落差別をはじめ様々な差別や人権問題の学習・ふれあい体験・異文化理解・ふれあいフェスタや老人会等との地域交流・長期休み等の行事などを指導員と一緒に実践してきました。そしてそのような活動を通して、子どもたちの仲間づくりと人間形成をはかってきました。今後、地域において、これまでの児童館活動をどう継承していくかが課題となっています。（子どもの学力・自主活動・人権学習をどう保障していくのか等）

文責 松塚



児童館活動の様子



事務局だより

- 4月の常任理事会は4月27日（土）午後1時30分より「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）で行います。

花だより 山の桜はまだ元気です

異常気象で平地の桜は、例年より早く咲き、早くも散っていますが、少し足を伸ばして山へ行きますと談山神社は10日頃がみごろです。

東吉野の「天空の庭 高見の郷」は15～20日頃がみごろです。尚、12日（金）午後6時10分からNHK奈良の「ならナビ」にて約1100本のしだれ桜が放映されます。



平成24年4月23日 高見の郷

会員募集中 どなたでも(市外の方も)入会できます。くわしくは事務局まで。
年会費 個人 ¥2,000 法人 ¥20,000

編集後記 故芝房治氏が亡くなられて、早くも3ヶ月になろうとしています。市政に・文化に・市民運動に活躍された故人を偲び追悼の臨時増刊号を発行します。

故人のご功績やお人柄は、いくら語っても語り尽くせるものではありません。不足の点もあると思いますが、とりあえず私たち間でささやかな追悼文を編集しました、故人の生前のご交誼に事務局員一同深謝申し上げます。ご冥福をお祈りします。

さて春になりました、年度がわりの月です、本誌も新しい課題に取り組み紙面も斬新なものにしたいと思っています。今回は、藤井氏と松塚氏から報告をいただきました、皆さまからの情報をお待ちしています。

(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345